



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市亀田総合体育館
 試合区分：少年女子 1回戦
 開催期日：2009年10月2日（金）
 開始時間：11:45

GAME No. 1002G2

主審：吉田 利治
 副審：小坂井 郁子

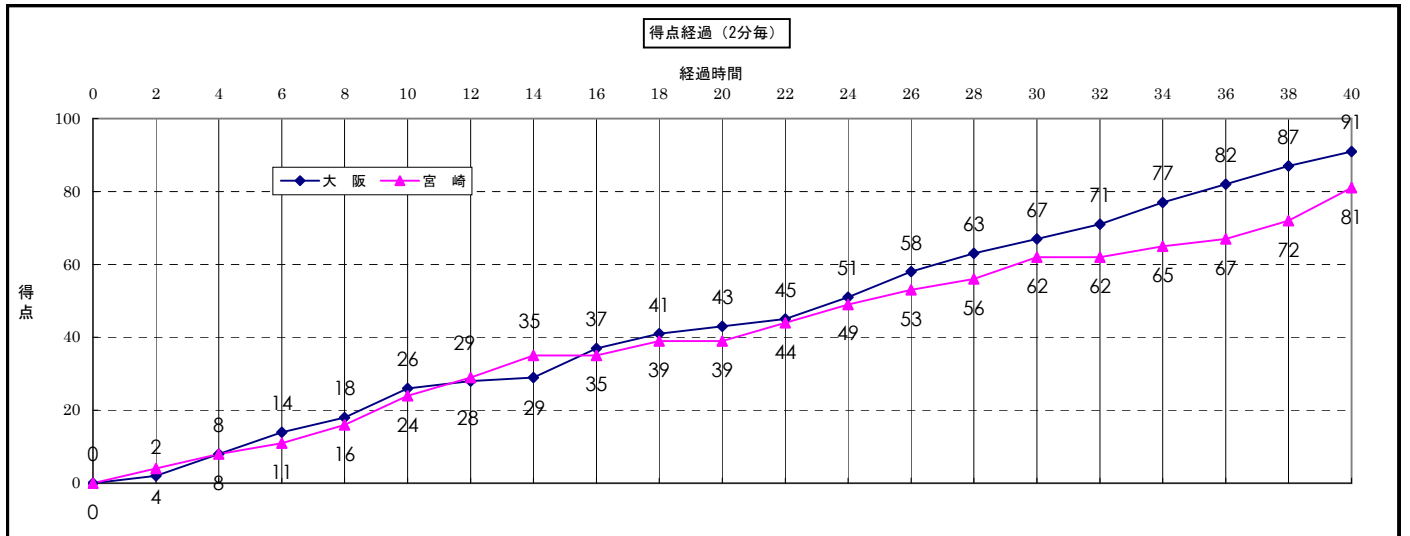
Team A	○	26 -1st- 24 17 -2nd- 15 24 -3rd- 23 24 -4th- 19	●	Team B
大 阪	91		81	宮 崎

TEAM A		大 阪					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	森 仁美	11	1	4	0	2
5		前川 千尋	0	0	0	0	0
6	*	上畑 香奈	13	0	6	1	3
7		金澤 春香	6	0	3	0	2
8	*	早川 結花	0	0	0	0	0
9		朝田 桃子	2	0	1	0	0
10		谷口 菜生	9	0	3	3	2
11		蛭尾 はるか	4	0	2	0	1
12	*	藤木 沙也香	7	1	2	0	2
13		吉川 裕子	-	-	-	-	-
14	*	大濱 杏華	13	0	6	1	1
15		坂井 郁香	26	6	4	0	0
Coach		浅貝 修二					0
TOTAL			91	8	31	5	13

TEAM B		宮 崎					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	上妻 朱奈	17	5	1	0	1
5	*	江藤 綾子	11	0	5	1	4
6	*	八崎 友里慧	14	1	4	3	2
7	*	薬師寺 伶	20	0	8	4	3
8		山本 珠美	0	0	0	0	0
9		野崎 真衣	0	0	0	0	0
10		永田 久美子	0	0	0	0	1
11		寺田 彩香	0	0	0	0	0
12		岡松 永莉	3	1	0	0	1
13	*	早稲田 菜月	16	2	5	0	1
14		濱砂 貴恵	0	0	0	0	0
15		森満 亜衣	-	-	-	-	-
Coach		西田 次良					0
TOTAL			81	9	23	8	13

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	-	39:28	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	14:52	-	27:11	32:27 32:54		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、両チームともにマンツーマンディフェンス。大阪は#4森のジャンプシュートで先制。宮崎は#7薬師寺のシュートで応戦。大阪は#15坂井の3Pシュートで引き離しにかかるが、宮崎は#7薬師寺のドライブなどで得点を重ねる。終了間際、大阪#12藤木の3Pシュート、宮崎#13早稲田の3Pシュートが決まり、24-26で終わる。

2Q、立ち上がり、宮崎#13早稲田の3Pシュート、#7薬師寺のドライブインからのジャンプシュートで逆転するが、5分に大阪#15坂井の連続3Pで同点に追いつく。その後、宮崎は#7薬師寺のドライブイン、#4上妻の3Pシュート、大阪は#10谷口のジャンプシュート、#6上畑のドライブインで得点を重ね、43-39、大阪4点リードで前半終了。

3Q、宮崎は#4上妻の3Pシュートと#7薬師寺のドライブで得点を重ね、さらに#6八崎の3Pシュートで逆転。その直後、大阪は#10谷口のフリースローで再び同点とする。大阪は#15坂井の3Pシュートや、#11蛭尾の得点などで5点差にリードを広げると、宮崎がタイムアウトをとる。その後、宮崎#7薬師寺の連続得点で追い上げるが、大阪は#15坂井の3Pシュート、#4森のジャンプシュートで67-62と大阪リードで3Qを終える。

4Q、追いつきたい宮崎だがシュートが決まらず、大阪の#6上畑、#7金澤のジャンプシュートで75-62とリードを広げ、宮崎がタイムアウトをとる。タイムアウト後、宮崎はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、ボールに激しくプレッシャーをかけるが、大阪は落ち着いてボールを運ぶ。宮崎は激しくプレッシャーをかけ続け#4上妻の3Pシュートなどで追いつきようとするが点差は縮まらず、91-81で大阪が勝利した。

記載責任者	佐藤 淳 (所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	-----------	---------------